



議会だより つしま

No.19

2023

2月

令和5年



未来のために学びます

「税を考える週間 税金クイズ」

もくじ

- ★11月臨時会
12月定例会あらまし……………2
- ★常任委員会審査報告……………3
- ★会派代表質問……………4
- ★12月定例会一般質問 5～8
- ★所管事務調査報告…9～10
- ★行政視察報告……………11
- ★決算委員会審査報告、
改正離島振興法成立……………12
- ★編集後記……………12

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018
E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



令和4年第2回対馬市議会臨時会(11月)の概要

令和4年第2回臨時会が11月28日に開かれ、9件の提出議案について審議され、全件可決されました。

- 令和4年度対馬市一般会計補正予算(第9号) ほか予算案6件
- 対馬市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 損害賠償の額の決定について

【議案】



令和4年第4回対馬市議会定例会(12月定例会)の概要

令和4年第4回定例会が12月6日から12月20日(15日間)の日程で開かれ、34件の提出議案について審議されました。

会派代表質問は1会派、一般質問は8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

認定 8件 (令和3年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか)	→	全件 認定
予算案 5件 (令和4年度対馬市一般会計補正予算(第9号) ほか)	→	全件 可決
条例改正案 3件 (地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 ほか)	→	全件 可決
議決案 3件 (対馬市CATVの指定管理者の指定について ほか)	→	全件 可決
同意案 14件 (対馬市農業委員会委員の任命について ほか)	→	全件 同意
意見書案 1件 (対馬-釜山間国際航路の早期再開を求める意見書)	→	可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



3月定例会のお知らせ

令和5年第1回定例会は、2月下旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件(3件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第9号)

②地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

③対馬市CATVの指定管理者の指定について

◎審査内容

○総務費、商工費、消防費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、CATV撤原サブセンター無停電電源装置交換に係る修繕料、湯多里ランドつしま機械設備改修事業、豊玉総合運動公園野球場トイレ新築工事に係る設計委託料、鶏鳴小学校通学路等災害復旧事業などについて審査を行いました。また、地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年年齢を段階的に引き上げる等所要の改正を行うための条例、対馬市CATVの指定管理者の指定について審査を行いました。



厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件(1件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第9号)

◎審査内容

○総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、市民課窓口等に配置する日額会計年度任用職員報酬、市県民税ほか過誤納還付金、高齢者移動費助成、15事業に係る国・県費精算返還金、医療扶助オンライン確認導入事業費、介護保険特別会計繰出金、塵芥処理施設3施設及びし尿処理施設3施設の電気料、運動コーディネート事業に係る活動費などについて審査を行いました。



産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(1件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第9号)

◎審査内容

○総務費、農林水産業費、商工費、土木費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、国際交流員旅費、新規就農者育成総合対策補助金、三宇田浜園地リニューアル事業、市道道路改良事業の工事請負費及び委託料、博物館開館1周年記念特別展ポスター制作等委託料、7月18日豪雨により被災した道路及び河川の復旧に係る工事請負費などについて審査を行いました。



会派代表質問

会派代表質問とは、会派を代表して行う質問のことです。対馬市議会では、9月・12月の定例会において行っています。質問時間は、所属議員数で算定し、90分を限度としています。その時間内で関連質問も認められています。

対馬市議会には、6会派があります。今回は1会派が質問を行いました。

新政会



伊原 徹議員

◆有事における国境離島「つしま」の役割と観光受け入れ態勢の両立

(伊原) 混沌とした世界情勢の中、離島防衛を含めた我が国の防衛能力体制整備は急務である。本市の防衛と観光を考えると、自衛隊艦船や大型クルーズ船が容易に接岸可能な、比田勝港や厳原港整備、有事での自衛隊機活用や大型ジェット機の離発着

ができるよう、対馬空港施設の滑走路延長の考え方は。

(市長) 比田勝港の岸壁は180メートル、厳原港は330メートルで、水深は両港ともマイナス7・5メートルで、県として、現段階では新たな岸壁の整備計画はありません。また、対馬空港滑走路延長は県知事や国土交通省への要望活動を行いました。現状では厳しい状況にあります。

(伊原) 日常において、大型車両間の離合困難箇所が多々あるが、有事での自衛隊特殊車両等の運行には狭隘な未整備区域の早期改良は。

(市長) 平成28年度に、国道道路等整備促進特別委員会でもとめた要望事項に沿って整備を進めてきたが、国道382号の改良率は、令和3年4月時点で86・0パーセント、県道は47・7パーセントと伺っております。次に、離島防衛能力について、現在の世界情勢を国防の有事の面から考察すると、有事ではどのような規制や施設利用となるのか、危惧しているが、現段階では国との協議は行っておりません。



春田 新一議員

(春田) 本市の保全・防衛と観光の両立を考えると、地域によっては使用不能な多くの公共施設が無残な姿で点在している。

万が一、朝鮮半島での有事によって武装難民等による廃校舎や公営住宅への無断進入もあり得る。また、観光バスやレンタカーなどの車窓から見える無残な公共施設解体の計画は。

(市長) 国境離島の本市の防衛及び観光面から、老朽化した公営住宅や教育施設が市内には相当数あります。廃校舎の利活用として、希望者への公募や民間への貸し出しなど有効活用を図っているところでございます。築年数や老朽化の状況を考慮しつつ、廃校舎や教職員住宅など、解体の優先状況を判断しながら進めてまいりたいと考えております。また、市営住宅については、公営住宅長寿命化計画に基づいて、計画的に解体を実施しております。



12月定例会一般質問 市政を問う



入江 有紀議員

私は9月14日の一般質問で、他の海水浴場は7、8月2か月で20万程度で、どうして三宇田海水浴場は1千万円なのか。令和元年から現在まで同じ会社が受けている。おかしいと質問したところ、業務委託会社から抗議の電話が議会事務局にかかってきました。そのあと比田勝に掲げている私の後援会の看板が、真っ赤に塗り潰されました。私は市民の方々から選ばれた議員です。いくら嫌がらせをされようと私は今までどおり市民の要望を議会で言い続けてまいります。私は負けません。

◆生ゴミ処理施設について
(入江) 生ゴミ処理施設は決算で3、100万ですが、お金にもならない施設を継続していくのか。

(市長) SDGsの未来都市の対馬として、地域循環、サーキエラーエコノミーの一環であるこの事業を今後も継続してまいります。

◆大山の公民館について
(入江) 要望があるのになぜ放

置していたのか。

(市長) 著しく老朽化が進行しており、見る限り改修工事ではなく、建て替えが必要だと判断しております。今後は、構造上の老朽化度を統一した基準で判定し、建て替えの優先順位を判断してまいります。

◆姫神砲台について

(入江) 今後、整備するつもりはあるのか。

(市長) 今までと同様に皆様のご協力をいただきながら景観の維持に努めてまいります。

◆コロナで生活が苦しくなっている子どもがいる家庭に対する給付金について

(入江) 地方自治体単位で物価高騰、燃油高騰のため子どもがいる家庭に5万円の給付金を出しているところがあるので、対馬市も全世帯に5万円の支給を考えてもらえないか。

(市長) 令和2年度から現在まで、約6億5千万円を子育て世帯へ支給しています。現時点では、単独予算による給付金等の追加支給は考えておりませんが、地方創生臨時交付金を活用した事業の執行残の有効活用の中で、議員がおっしゃられるようなそういった生活支援金の給付事業も一つの案として、検討してまいります。



小島 徳重議員

◆ふるさと納税の寄附額増加を目指す取組について

(小島) 9月定例会以降の新しい企画、取組は。

(市長) 数回に分けて送る定期便を開始し、新たな返礼品も開発する予定であります。周知・広告については各種イベント等でPRしており、新聞、雑誌、ネット等での広告も実施しております。リピートいただけるよう業者との連携を図ってまいります。

(小島) ふるさと納税を地域づくりの手法で、自治体を支援している企業との連携は。

(市長) 来年4月から事業支援業者を変更し、ふるさと納税額の向上を目指してまいります。

(小島) 返礼品で一番の人気商品クエの特産品化について。

(市長) 対馬における重要魚種として、ふるさと納税返礼品にとどまらず、活魚・鮮魚等においても安定供給、付加価値向上に繋がるよう漁協等と連携し、ブランド化を図ります。

(小島) クエの幼魚放流の増加

について。

(市長) 収益性の高い魚種として、地元要望も強い。持続的な漁獲量の確保に向け、種苗放流事業の拡大と予算確保に努めてまいります。

◆ESDの充実について

(小島) ESD（持続可能な開発のための教育）は、対馬市教育委員会の教育施策にどのように位置づけられているか。

(教育長) 市教育努力目標に「郷土を知り、愛し、未来につながる学びの充実、確かな学力、豊かな心を育てる学校教育の推進」を掲げ、ESDに取り組み、その中で地域を支える人材の育成に力を注いでおります。

(小島) 市の教育施策の中に「ESD」、「SDGs」という言葉を入れるべきではないか。

(教育長) 非常に重要な部分であります。ESD、またSDGsという言葉を強調しながら、先生方には授業の中でしっかりととした指導をお願いしたいと考えております。

(小島) 各学校におけるESDの実践及び成果は。

(教育長) すべての小中学校において、ふるさと学習を実施しており、各学校で特色あるさまざまな実践がなされ、成果が上がっております。

12月定例会一般質問

市政を問う



春田 新一 議員

◆教育行政について

(春田) 学校、家庭、地域の効果的な連携体制について。

(教育長) これまで以上に地域の学校だということ、全ての市民の方が意識していく必要があると思います。その意味でコミュニティ・スクールというのは非常に重要になってくると思っております。今後の計画として、だいたい1年ごとに2地域くらいの順に指定をして、10年のスパンで学校をコミュニティ・スクールにするという計画を進める考えています。

(春田) 離島留学生の受け入れについて、島っこ留学の一番のネックは、里親を受けていただく方が少ないことである。このことを改善しなければいけないと思いますが、寮を造る考えはないか。

(教育長) もし対馬に造るとなると、その寄宿舎がある場所の

学校という所に限定されてしまいます。もし、今後、受け入れる学校を増やすとなった時には、そこが逆にネックになる可能性があり、今後、慎重に検討してまいります。

(春田) 特別支援学校小学部、中学部の設置に向けた進捗状況は。

(教育長) 現在までの要望内容については、県教育長にもご理解いただき、「第二期長崎県特別支援教育推進基本計画第一次実施計画」の中に、新たな取組として、対馬地区における小・中・高部分教室設置の検討が記され、令和4年2月17日の県教育委員会会議で承認されており、その後も早期設置に向けてお願いをしております。

(春田) 設置場所などの方向性は。

(教育長) 現在、設置場所については既存の小学校、または中学校に併設する方向で県と協議を進めています。今後も県と市が連携を図りながら早期設置に向けた取組を進めてまいります。



島居 真吾 議員

◆新型コロナウイルスの情報発信について

(島居) 市民の皆さんは、新型コロナウイルスの第8波及び変異株であるオミクロン株が流行するのではないかと心配されています。感染拡大を抑えるためにも、防災無線で感染者数を告知することが最大の予防だと思いが、できないのでしょうか。

(市長) 県の公表内容の見直しにあたっては、感染拡大が起きた際の医療機関や保健所の事務負担軽減や混乱を避けることを目的として行っております。

(島居) 県の保健所に確認を取ると、市単独で告知することは何の制約もないと言われたが。

(市長) 告知に肯定的な人もいれば、否定的な人もおられます。飲食店経営の皆さんは、商売にならないなどと反対される方もおられます。

(島居) その店がコロナの発生源になる。予防をしつかりして

感染者が減れば放送回数を減らせばいい。

(市長) 今後、必要と判断される場合は、防災無線やホームページ等を通じて市民への啓発に努めていきたいと考えています。

◆対馬島内の携帯電話の普及エリア拡大について

(島居) 島内は携帯が繋がらないエリアが広い範囲に及んでいるが、新たな基地局は建っていないのか。

(市長) 国の施策においても、令和2年度より災害時の安全確保の観点から、道路等の非居住地エリア圏外を解消することを目的に改正が行われています。

市としては、エリア外居住地域の解消を最優先として、今後も継続して要望してまいります。

◆上県町佐護地区の旧医師住宅の位置付け及び域学連携との相互利用について

(島居) 前市長との約束通り、恵古地区が利用できるよう鍵は区長に預けてくれるのか。

(しまづくり推進部長) 使用の都度鍵を借りに来るのが面倒だと地区の人が言われるのであれば検討をしたいと思います。

12月定例会一般質問

市政を問う



糸瀬 雅之議員

◆令和5年度の対馬市の子どもの施策の予算編成について

(糸瀬) 令和5年度対馬市の重点的な子ども施策について伺う。

(市長) 1点目は、(仮称)豊玉認定こども園建設事業でございます。豊玉地区の保育施設を集約化し、新たに開設するもので、必要とする施設整備を順次行っております。2点目は、へき地保育所への給食の提供の実施に向けて整備を進めてまいります。

(糸瀬) 物価高騰対策としての要望として、①新生児の出産祝い金の創設②新生児の2年間の紙おむつ、粉ミルクの補助金③母子家庭小学校入学時のランドセル購入補助金などを検討できないか。

(市長) これらの補助金については、今後の試算をし、検討課題とさせていただきます。

◆一般質問に対する進捗状況について

(糸瀬) 将来的に対馬市内に高級宿泊施設の誘致に向けた進捗

状況について伺う。

(市長) 高級宿泊施設の誘致については、富裕層の観光客がもたらす経済効果やPR効果に大きなメリットが期待され、量から質への対馬の観光ブランドを高めるためにも、高級宿泊施設の必要性を痛感しております。今後も情報収集等に努め、関係者のご協力、ご支援をいただきながら、誘致に向けて取り組んでまいります。

(糸瀬) 上県町佐護にある千俵詩山の観光地の整備計画について伺う。

(市長) 整備につきましては、千俵詩山はそのままの姿を維持することが重要と捉えております。佐護地域の方々のご協力をいただきながら自然公園として、今後も同様に維持管理をしてまいります。上県町エリアの観光地のみならず、北部振興について、関係部署及び関係団体と協議を進めてまいります。

(糸瀬) 対馬島内の各観光地は、道路整備・トイレなどの整備が、まだまだ不十分ですので、国内外からの観光客が満足のいく観光地整備を行っていただきたい。



大浦 孝司議員

◆佐須土地改良区における農業用水路(パイプライン)の維持管理について

(大浦) 佐須土地改良区の要望については、産業建設常任委員長より、所管事務調査報告が議会初日に行われたところでありますが、さらに、事業の内容について掘り下げて議論してみたいと存じますので、市長のご意見を賜りたいと思います。佐須地区の亜鉛採掘の鉱業活動の歴史は古く、これらの坑口からの排水の中に、特定有害物質カドミウムが検出された。それが佐須川、椎根川を経由して水田に入り、米が汚染されていることが判明。その後、昭和54年から6年の歳月を要し、県営公害防除特別土地改良事業に、総工費24億657万円が投じられ、公害田の復元が行われた。この時点の負担区分は、国45・3パーセント、県23・8パーセント、

企業32・7パーセントとなっております。現在、工事完了後39年を経過し、パイプラインの塩ビ管を主体とした漏水問題が浮上している。用水路の引き込みの頭首工の設置場所は、坑口よりさらに上流部に設置しているため、通常の圃場整備と比較してはるかに長い距離となっている。工事後、半世紀が過ぎる中、現在も対馬保健所主管のもとに水質検査が行われており、データチェックはなされている聞き及んでいるが、今後においても坑口より下流に取水の設置は危険なことであり、現在の取水口は変更できないと思われる。そのようなことから、改良工事等が今後発生した場合、国、県、企業負担は当然と思うが、市長のご意見を賜りたいと存じます。

(市長) 基本的な考え方は理解するところであり、東邦亜鉛さんにもご相談申し上げることも必要ではないかと思っております。

※その他「CATVの管理について」質問を行いました。

12月定例会一般質問

市政を問う



脇本 啓喜議員

◆観光をめぐる安心安全の構築について

(脇本) 持続可能な観光を推進する上で、「環境への貢献」と「安全」という価値を扱う消費行動に舵が切られる。よう誘導する必要がある。例えば、安全な街歩き観光確保の一環として、市役所本庁横、旧蔵原幼稚園跡地を駐車場として利用することについても再度、文科省と折衝してみてもどうか。

(市長) 規制と安全の観点から行政機関と旅行事業者等による協議を踏まえ、どのような形の安全対策組織が構築できるのか検討してまいります。

◆城下町の景観保全について
(脇本) 屋外広告物規制に向けた取組について答弁を求めます。

(市長) 市民及び事業者による屋外広告物規制の必要性を認識してもらったため、説明会等啓発活動を行っていき、一定の理解を得られた時点で市民、行政、事業者等による委員会等を立ち上げ、合意形成を図りながら本市独自の

の屋外広告物条例の策定に向けて取り組みます。

(脇本) 補助金制度復活を含めて、蔵原城下町の石堀・石垣保全を図るための今後の取組について答弁を求めます。

(市長) 個人の負担軽減を考慮し、まずは蔵原町地区を優先し、交付金の活用が前提とはなるが事業を組み立てていきたいと考えております。

◆対馬・釜山間の国際航路再開見込みについて

(脇本) CIQ、特に人の検疫についての人員確保が航路再開の最大の支障になっている。現時点での進捗状況について答弁を求めます。

(市長) 国の施策による感染症拡大防止対策が新規に追加され、検疫審査体制の人手不足が懸念され、地元自治体への協力要請もあつております。簡易な業務については島内警備事業者への委託も含め、協議を進めております。国の方針に基づきファストトラックという審査方法を実施する予定であり、それに伴いターミナル周辺のWiFi環境の整備が必要となり、市がWiFi環境のバージョンアップを対応する方向で協議しております。



波田 政和議員

◆外国人観光客の受け入れ体制と方向性について

(波田) 今日までの外国人観光客の受け入れで、本市の消費と経済に効果が得られたか疑問が残る。今後のインバウンド政策は過去の反省を活かし、行政主導でやるべきではないか。

(市長) 外国人観光客の受け入れ体制については、今までみたく同じ轍を踏まないよう、受け入れには何らかの施策は必要と感じております。今後の外国人観光客誘致については、行政主導で行ったほうがいいのか検討し、一番いいと思われる施策を進めてまいります。

◆対馬朝鮮通信使歴史館について

(波田) 開館し1年が経過したが、集客に向けての今後の取組や計画、また、地元で親しみあえる歴史館として、どのような考

えがあるか。

朝鮮通信使歴史館との交流や、国際航路再開後の韓国からの観光客に誠心の交流による朝鮮通信使と対馬の関係を認識してもらう場として、市内の小中学生のまちづくりのための地域学習の場として活用を進めていきたい。また、博物館については、来年の4月にも市民の皆様にも無料開放できないか検討してまいります。

◆ふれあい処つしま周辺道路の路側灯について
(波田) この付近の歩道に設置している路側灯の接触事故が多く見受けられるが、改善の考えはないか。

(市長) 年間、数件の事故が起きていますので、何らかの対策が必要と感じております。関係各者と協議し、維持管理と景観のバランスが取れる手法を精査していきたく考えております。



所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は、令和4年11月1日に、「対馬市社会体育施設等の維持管理状況等について」所管事務調査を行いました。

今回の調査では上県体育館、上対馬総合運動公園体育館、美津島体育館、美津島文化会館を現地において調査しました。供用開始後、30年から42年が経過しており、いずれの施設においても老朽化による雨漏り等の不備を確認しました。危険箇所については早急な対応を求めるものです。また、今回調査した施設以外にも多数の修繕が必要な社会体育施設、学校教育施設がありますが、今後は統廃合計画とリンクしながら、しかるべき施設に計画的、重点的に予算を配分するべきとの意見がありました。

また、11月2日には「対馬市の空家対策の現状と課題について」及び「対馬市のふるさと納税制度の現状と課題について」所管事務調査を行いました。

空家対策の現状と課題については、本市における住宅総数は減少が続く一方で、居住実態のない住宅数は増加する傾向にあります。人口減少、高齢化が進行する中、老朽化し、危険空家となる空家が更に増加することが懸念されます。

今後は地域と連携し、危険な家屋を早期に発見・把握し、所有者への指導・助言を行うとともに解体についての補助金を創設し、解体を促進できる環境を整備して安心安全な地域の実現を求めるものです。

次に、ふるさと納税制度の現状と課題については、平成20年度から令和3年度まで



上県体育館で説明を受ける

の寄附の累計は5万7,760件、11億8,219万5千円にのぼり、様々な事業に充当されています。返礼品については、クエ鍋セット、あなご等の魚介類が人気であります。課題としては寄附額の伸び悩み及び小口寄附の増加による送料の増加とのことでした。

今後は、ふるさと納税支援業務について実績のある業者に業務委託することも視野に入れ、目標を設定して更なる寄附額の増加を図るとともに寄附を通して対馬の応援者を増やし、地域の活性化に繋げていくことを求めるものです。

■厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

本委員会は、令和4年10月28日に認知症カフェ設置等助成事業、買い物物支援事業、(仮称)豊玉認定こども園建設事業について調査を行いました。

認知症カフェ設置等助成事業について、ありあけ会館で開催されている「かたろう会」の活動の様子を視察しました。かたろう会は毎月、第2・第4金曜日の9時30分から11時まで活動しており、視察当日は約10名が参加していました。この事業は、実施期間を令和3年度から令和5年度までとし、現在、対馬市内で4か所活動していますが、令和5年度までに1か所新設予定で関係者と協議中です。

買い物物支援事業のうち、通いの場移動販売事業は、事業者の協力により、定期的に車で商品を移動販売することで買い物物を支援する実証事業で、現在、美津島町尾崎地区と賀谷地区の2地区で実施されています。尾崎地区は、毎週土曜日に実施し、実績は令和3年10月16日から令和4年7月19日までで16回、客数延べ455人、総売上商品数は2,966品目です。賀谷地区は、毎月、第1・第3火曜日に実施し、実績は令和4年7月5日と7月19日の2回で、客数延べ64人、総売上商品数は304品目です。送迎等助成金事業は、自主グループ活動において送迎等を行う自動車の自動車保険経費を助成するものです。買い物物支援と通いの場参加者を増やすことを目的としています。シニア向けスマホ教室事業は、通信事業

所管事務調査報告



かたろう会の活動の様子を視察（ありあけ会館）

者のスマホ教室（無償）を高齢者の憩いの場等で実施し、高齢者がスマホの操作方法等を習得し、体操動画の視聴等を行うことで、介護予防や買い物支援等に繋げることを目的としています。現在は新型コロナウイルスの影響で実施されていません。

（仮称）豊玉認定こども園建設事業について、豊玉町仁位に新設予定の（仮称）豊玉認定こども園は、令和6年4月1日を開園時期として準備が進められています。当該認定こども園は、保育所と幼稚園の両機能を持ち合わせた施設で、豊玉地区の保育施設を集約化し、新設するものです。0歳児から5歳児までを入所対象児童とし、入所定員数は120名の予定です。

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

10月21日、農業経営の取組、農業用水の維持管理と課題、しいたけの燃油高騰対策の取組と課題、市営林管理と整備及び市営林経営委託の状況と課題について、現地調査と所管事務調査を行いました。まず現地調査では、農事組合法人檉椎小原より、組合員の農業生産についての協業を図ることにより、その生産性を向上させ組合員の共同利益を増進させることを目的にしている問題点は、増加していく耕作放棄地の活用、水田活用の直接支払い交付金制度の改正要望、現在の組合法人では事業の拡大が難しく今後は株式会社とし事業の拡大を目指したいとの説明でした。

次に、農業用水の維持管理と課題について土地改良区より、本地域はカドミウム汚染により農用地土壌汚染対策地域の指定を受けた水田約58ヘクタールを、公害防除特別土地改良事業により農家経営の安定と所得の向上を図るため昭和54年6月28日に佐須土地改良区として設立。農用地4地区で約48ヘクタール、組合員数110名。しかし、公害防除土地改良事業で整備したパイプラインが老朽化による錆が原因で亀裂が発生している。令和6年度以降見直しが行われる予定だが、市からも要望をお願いしたいとの説明を受けました。このことについては、委員から執行部にも要望の協力をお願いしたいとの意見が出ました。農林しいたけ課から、長崎県土地改良事業団体連合会が総合的な調査を実施し、整備内容を決め優先順位を付けて行うので、どこまで

やってももらえるかわからないが令和6年度の調査内容を踏まえ県と一緒に進めていきたいとの回答でした。

次に、森林管理としいたけ栽培について説明を受けました。市営林の森林整備などについては対馬森林組合に委託を行い、間伐作業などを実施している。人工林の多くが利用期をむかえ主伐が増加していくが、伐採後は植栽し確実に更新、循環させることが重要。また、森林環境譲与税を活用した取組については森林経営管理法に基づき今後所有者が委託希望の場合は市が森林整備等を実施する。今後はさらに各種補助金などを検討していく。しいたけ栽培の現状と課題については高齢化、価格低迷、気候による発生数、生産量の減少、担い手新規参入者対策が課題となっている。との説明を受けました。委員から担い手対策に森林環境譲与税を活用してはどうかなどの意見が出ました。

最後に、市営林経営委託について対馬森林組合及び農林水産部と意見交換を行いました。森林環境譲与税は制約が多い、もつと利用拡大をしたいので譲与税を活用して林地残材を搬出して収入になるように検討、林道支援の整備もお願いしたいとの意見でした。



佐須地区のほだ場で説明を受ける

行政視察報告

【報告書】



常任委員会、議会運営委員会が先進地の行政視察を行いました。詳細についてはホームページに報告書を掲載しています。

厚生常任委員会

日時 令和4年10月31日～11月2日

視察先 ①障害福祉サービス事業所PICFA
②日田市役所

視察内容 ①障害者就労支援について
②認定こども園について



PICFA

総務文教常任委員会

日時 令和4年11月16日～11月18日

視察先 ①波佐見町役場
②別府市役所

視察内容 ①ふるさと納税について
②空き家対策について



別府市役所

議会運営委員会

日時 令和4年11月7日～11月9日

視察先 ①糸島市議会
②中津市議会

視察内容 議会運営について
議会改革の取組について



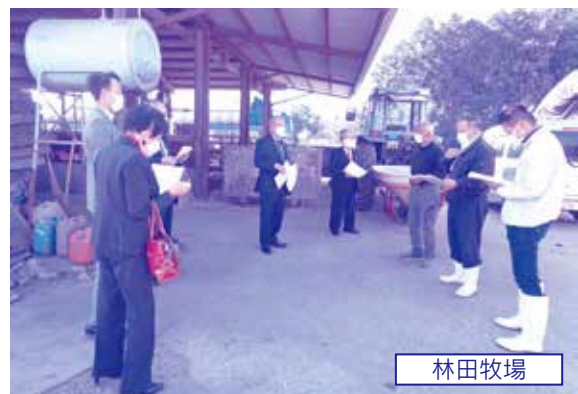
中津市議会

産業建設常任委員会

日時 令和4年11月9日～11月11日

視察先 ①大分県九重町 帯刀増雄氏ほだ場
②熊本県西原村 林田牧場
③よりあい処つしま

視察内容 ①原木椎茸栽培について
②あか牛の畜産について
③対馬市福岡事務所及びよりあい処つしまの実績と今後の課題



林田牧場

決算審査特別委員会レポート

令和4年10月5日から7日の3日間、決算審査特別委員会が開催され、令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定について審査が行われました。

令和3年度決算では、新型コロナウイルス感染対策事業の減少により、歳入においては、前年度と比較すると率にして5.4%の減、歳出においては、6.5%の減となっています。本市の自主財源の柱である市税の占める割合は8.6%で、前年度と比較すると0.2ポイントの増となっています。貴重な財源である税収入を確保するため、また、税負担の観点からも、滞納の早期解決を図るなど、引き続き市税の徴収強化に努めていくことが重要であると報告がされました。

◎詳細は広報つしま1月号に掲載しています。

改正離島振興法が成立しました

令和5年3月31日までを期限とする離島振興法が、改正により10年間(令和15年3月31日まで)延長されました。改正離島振興法では、「高速度で安定的に航行できるものその他の船舶の新造及び更新に対する特別配慮規定」が明記されました。



市民の皆様、明けておめでとうございます。

編集後記

2023年初めての議会だよりです。楽しい話題を提供したいと思いましたが、対馬の現状をみると、そういう訳にもいきません。あまりにもコロナ感染者が多すぎます。今回のコロナは感染力は強いが重症化はしないと専門家は言ってきましたが、然にあらず、院内感染をはじめ、老人ホームでのクラスター発生等、亡くなるのは社会的弱者が大半です。本来なら失われないで済む命に何の対策も立っていない今の行政に、憤懣やるかたないばかりです。命の尊さに重軽を比べることはできません。失われてもいいという命はないのです。市民の皆様には、3密を避け、もらうことなく、うつすことなく、一日も早いコロナ終息に向け、ご協力いただきたいと思います。

(文責・島居真吾)



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島徳重 【副委員長】陶山莊太郎
【委員】島居真吾・入江有紀・上野洋次郎